

保護者各位

鳥取西小学校 校長

高島 昌之

# いじめとは、何か？

文科省から出ている『いじめの定義』は下記のようなものである。

**一定の人間関係** のある者から、

**心理的・物理的な影響を与える行為**（インターネット含む）を受けたことにより、

**精神的な苦痛** を感じているもの。 場所は学校の内外を問わない。

**関係性** 「自分より弱い者」という表現が、H18以降、「一定の人間関係」となる。

「一方的に」という表現が消え、やり返しでも相手が主張すると、『いじめ』となる。

**方法** 「身体的」という表現が消え、「物理的」となり物隠しも『いじめ』となる。

「攻撃」という表現がなくなり、「影響を与える」となって範囲が広がった。

**立場** 「相手が深刻な苦痛を感じている」から「精神的な苦痛を感じる」になり、加害者の立場から被害者の立場での表現になる。

【平成18年度以前】 自分より弱い者に対して一方的に、身体的・心理的な攻撃を加え、

相手が深刻な苦痛を感じているもの。 場所は学校の内外を問わない。

文科省の考える定義を紹介したが、『いじめ』という関係はどんな関係なの？と問われたら、次のように考える。

いじめの関係とは、

**自分の快樂のために「他者を悪用する」**

関係である。

いじめは、私たちが価値を置いているものを「**悪用**」して行われる。(活動を根気強くできない男子をさぼっていると皆で責めることで快感を感じているなど)。この「**悪用**」を大人が「見抜けるか」どうか大切である。

不安を解消したり、正義のために行動すると、脳は快感を感じる。

取り残されることへの不安を防ぐために他者を攻撃・排除する。また、異質な存在・場を乱す存在にイライラすると「気づかせるため・正すため」という理屈で他者を攻撃・排除する。その時、脳が快感を覚えるとその快感がくせになる。